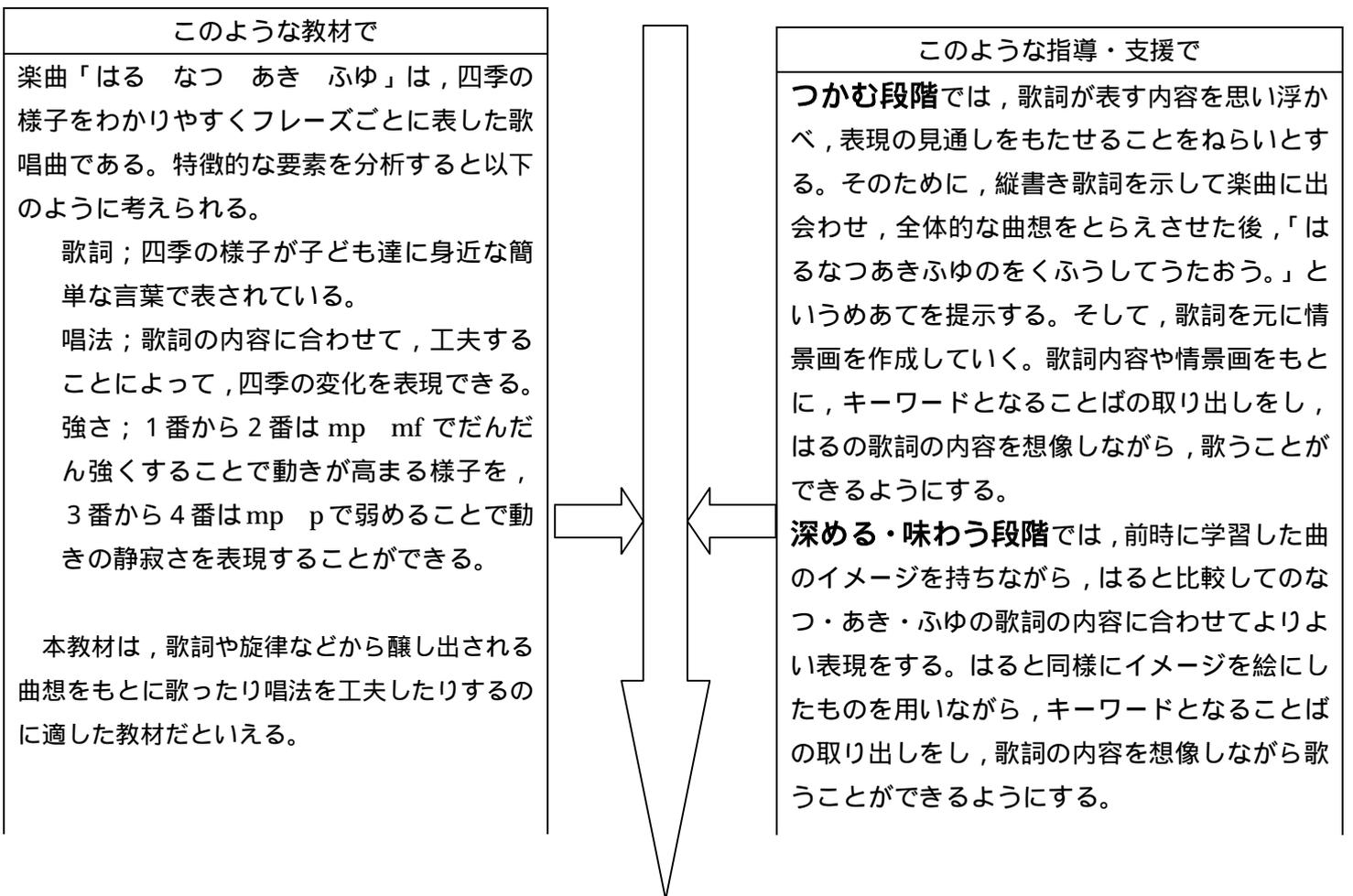


- 1 題材 ようすを おもいうかべてうたおう
- 2 教材 はる なつ あき ふゆ（三浦真理作詞・作曲）
- 3 指導に当たっての考え方

本学級の実態
<p>音楽が好きな子どもは多いが、身体表現をしながら歌ったり、自信をもって声を出して歌ったりすることに消極的な児童が多い。しかし、月の歌や英語の歌を歌うことを通して、少しずつ声を出して歌うことを楽しんでいる様子も見られる。</p> <p>歌詞の内容に合わせて身体表現をしながら歌うことはあったが、唱法を工夫する経験は十分ではない。自分の歌声や呼吸や発声の仕方に気を付けて歌うことはまだできていない。</p>



指導目標
<p>歌詞の表す情景を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌おうとしている。</p> <p style="text-align: right;">（関心・意欲・態度）</p>
<p>歌詞の内容や旋律の特徴を感じ取ったりしながら、唱法を工夫することができる。</p> <p style="text-align: right;">（感受・表現の工夫）</p>
<p>自分の歌声や発音に気を付けて、表情豊かに歌うことができる。</p> <p style="text-align: right;">（表現の技能）</p>

4 歌う内容，歌う活動，教師の支援の設定

楽曲分析	歌う内容	歌う活動	教師の支援
<p>曲想 四季の特徴を子ども達に身近な簡単な言葉で表した歌曲</p> <p>—歌詞；四季の様子が子ども達に身近な言葉で表されている。</p> <p>—唱法；歌詞の内容に合わせて，工夫することによって，四季の変化を表現できる。</p> <p>—強さ；歌詞が表す四季の様子に合わせて</p>	<p>それぞれの季節の様子や情景をとらえて想像豊かに歌うこと</p>	<p></p>	<p></p>
	<p>歌詞や旋律を正しく覚えて歌うこと</p>	<p>覚えて歌う。</p>	<p>縦書きの歌詞を提示する 情景画を提示する 範唱CDを聴かせる</p>
	<p>季節の様子や情景に合った歌い方を工夫して歌うこと</p>	<p>覚えて歌う。 感じて歌う。 合わせて歌う。 工夫して歌う。</p>	<p>情景画を提示する 具体物を提示する 範唱CDを聴かせる 体を動かして歌わせる</p>

5 指導計画（全3時間）

	つかむ	深める・味わう（1/2本時）
ね ら い	題材「はる なつ あき ふゆ」に触れ、学習のめあてをつかみ、歌詞や旋律を正しく覚えて歌う。	季節の様子や情景に合った歌い方を工夫して歌う。
主 な 活 動 と 内 容	<p>1 「はる なつ あき ふゆ」と出会い、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 題材名・曲名・範唱CDから、学習の見通しをもつ。</p> <p>(2) 本時のめあてをつかむ。</p> <p>はる をくふうしてうたおう。</p> <p>2 はるの曲の気分を感じて工夫して歌う。</p> <p>(1) はるの歌詞の様子を想像し、体を動かして歌う。</p> <p>ゆるる・・・やさしく、メゾピアノで ふわり・・・やさしく、メゾピアノで</p> <p>(2) 具体物の動きに合わせて体を動かしながら歌う。</p> <p>3 本時学習のまとめとして、振り返りをする。</p>	<p>なつ あき をくふうしてうたおう。</p> <p>1 なつの曲の気分を感じて工夫して歌う。</p> <p>(1) なつの歌詞の様子を想像し、体を動かして歌う。</p> <p>大きなくじら・ざぶん・・・強く、勢いよく たいよう きらきら・・・明るく</p> <p>(2) 具体物の動きに合わせて体を動かしながら歌う。</p> <p>4 あきの曲の気分を感じて工夫して歌う</p> <p>(1) あきの歌詞の様子を想像し、体を動かして歌う。</p> <p>こりす・・・小さい声で、かわいらしく いそいで・・・速く</p> <p>(2) 具体物の動きに合わせて体を動かしながら歌う。</p> <p>4 本時のまとめとして、振り返りをする。</p> <p>ふゆ をくふうしてうたおう。</p> <p>3 ふゆの曲の気分を感じて工夫して歌う</p> <p>(1) ふゆの歌詞の様子を想像し、体を動かして歌う。</p> <p>ちいさなほし、ひかる・・・小さい声で きたかぜつめたい・・・ちいさく</p> <p>(2) 具体物の動きに合わせて体を動かしながら歌う。</p> <p>4 まとめとして四季を通して「はるなつあきふゆ」を歌う。</p>

6 本時 10月27日 5校時 1年 組教室

7 本時の目標

歌詞の表す情景を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌おうとしている。

（関心・意欲・態度）

歌詞の内容や旋律の特徴を感じ取ったりしながら、唱法を工夫することができる。（感受・表現の工夫）

自分の歌声や発音に気を付けて、表情豊かに歌うことができる。（表現の技能）

8 準備 教師：拡大歌詞 情景画 具体物 範唱CD

歌う内容	歌う活動	教師の支援
<p>1 前時学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">なつ あき をくふうしてうたおう。</div> <p>2 なつの曲の気分を感じて工夫して歌う。</p> <p>(1) なつの歌詞の様子を想像し、体を動かして歌う。 ことばを取り出して、なつのイメージを感じ取らせること。 「くじら」「ざぶん」「きらきら」</p> <p>(2) 具体物の動きに合わせて体を動かして歌う。 体の動きに合わせて、大きく勢いのあるなつの歌い方を工夫すること 「くじら」「ざぶん」 強く、勢いよく歌うこと 「きらきら」 明るく歌うこと</p> <p>(3) はるとなつの曲の気分を感じて歌う。 はるとなつの曲の気分を感じて歌うこと</p> <p>3 あきの曲の気分を感じて工夫して歌う。</p> <p>(1) あきの歌詞の様子を想像し、体を動かして歌う。 ことばを取り出して、あきのイメージを感じ取らせること 「こりす」「ちょろり」「いそいで」</p> <p>(2) 具体物の動きに合わせて体を動かしながら歌う。 体の動きに合わせて、軽やかな秋の歌い方を工夫すること 「こりす・ちょろり」 小さい声で、かわいらしく 「いそいで」 軽やかに、少し速く</p> <p>(3) なつとあきの曲の気分を感じて歌う。 なつとあきの曲の気分を感じて、歌うこと。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>感じて歌う</p> <p>感じて歌う 工夫して歌う</p> <p>感じて歌う</p> <p>感じて歌う</p> <p>感じて歌う</p> <p>感じて歌う 工夫して歌う</p> <p>合わせて歌う</p>	<p>拡大歌詞を提示して、歌詞を正しく歌うことができるようにする。 具体的に想像させるために、情景画を提示する。</p> <p>具体物を提示し、その具体物の動きに合わせて歌うことで、なつの元気な、勢いのある曲の気分を感じ取らせる。</p> <p>なるとなつの曲の気分の違いを感じ取りながら歌うことができるようにするために、はるとなつの違いを聴き取り評価するように事前に指示する。</p> <p>情景画の中に、情景物を提示する。</p> <p>具体物を提示し、その具体物の動きに合わせて歌うことで、あきの曲の気分を感じ取らせる。</p> <p>歌う役と聞き役に分かれてよさ確かめる。</p>

